

# 市外国人総合相談支援センター

市は、「市外国人総合相談支援センター」を市国際会館(博多区店屋町)1階に設置しています。II 写真。外国人住民を対象に、生活に関わる相談をワンストップで受け付け、必要な情報を提供して関係機関につなぎます。今月、窓口をリニューアルし、



気軽に相談ください

座って相談できるカウンターやプライベートに配慮した相談スペースの増設などを行いました。


## ●21の外国語に対応

在留手続き、雇用、医療、福祉、出産・子育て・教育等について、対面または電話・メールで相談できます。

英語、中国語、韓国語は相談員が対応するほか、ベトナム語とネパール語の相談支援員も配置しました。※ベトナム語は火・木曜日午前10時～午後1時、ネパール語は月曜日午前10時～午後4時に対応。その他の外国語

にも電話通訳サービスやタブレット端末を使って対応します。また、心理カウンセリングや行政書士・弁護士による無料の専門相談も行っています。詳細はホームページ(「福岡市 外国人総合相談支援センター」で検索)を確認を。

**市外国人総合相談支援センター**  
 開月～金曜日午前9時～午後6時  
 (祝休日、年末年始を除く)  
 ☎0120-66-1799 ※無料電話が  
 利用できない場合は、左コードのライン  
 電話か福岡よかトピア国際交流財  
 団(☎262-1799☎262-2700)へ。



スマートフォンは  
こちらから

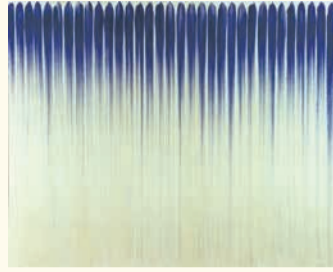
福岡アジア美術館 Fukuoka Asian Art Museum ☎263-1100 ☎263-1105

【連載】アジアのトップアーティストたち  
「福岡アジア美術館ベストコレクション展」(来年4月まで開催)に展示されるアーティスト10人の作品を紹介します。

## 第2回 イ・ウファン

群青色の絵の具をたっぷり含んだ筆で慎重に引かれた線は、まるで真つすぐに落ちる水のようです。

作者は1936年に韓国で生まれ、幼年期から書画を学び東洋的な感性を培ってきました。1955年に来日して以降、日本を拠点に活動を始め、1958年には日本大学に入学します。大学で哲学を学ぶ傍ら、日本画の技法や材料の実験を重ねる模索の時期を過ごしました。1960年代後半に入ると、石やガラス等の素材を展示空間にシンプルに配置する斬新な作品を発表。高度経済成長によって「もの」が大量生産・消費される社会を批判的に捉えた美術グループ「もの



イ・ウファン(李禹煥)《線より》  
1977年 顔料画布

派」の形成に貢献します。

本作《線より》は、東洋的感性を余すところなく伝える初期作品で、作者の代表作として知られています。具体的な形を描かず、隅から隅まで「現れては消える」反復した線には、作者が思索を重ねてきた「無限の概念」や「終わりのない時間」への関心が読み取れます。

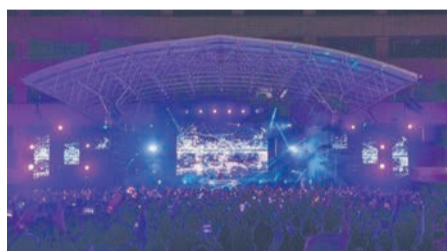
作者は現在、日韓美術界を牽引する存在となり、アジアを代表する巨匠として国際的に評価されています。(学芸員 趙純恵)

## クリエイティブなまち・福岡を体感できる2日間

# THE CREATORS ザ・クリエイターズ開催

市は、最先端のテクノロジーとエンターテインメントを体感できる「ザ・クリエイターズ」を10月21日(土)、22日(日)に市内各所で開催します。

**市役所西側ふれあい広場会場**  
期正午～午後9時 入場無料



音と光と映像で繰り広げられる音楽ショー

DJ、プロデューサーなど国内外で活躍する石野卓球や、米津玄師との「打上花火」で注目を集め、絵画の個展も開くDaakoなど多彩な表現活動を展開するアーティストのライブを行います。また、AIデジタルアート作品の上映やプログラミングコンテストの表彰式、地元モデルによるファッションショーのほか、クリエイティブ関連企業による体験型ブースも出展します。



石野卓球



Daako(ダコ)

**市科学館会場(中央区六本松四丁目)**  
期午前9時半～午後6時 入場無料



遊べるデジタルアート展

音と映像を使った不思議な体験ができる「遊べる!デジタルアート展×ザ・クリエイターズ」を開催します。カメラの前に立つと、ろくろ首などの妖怪に変身する「妖怪カメラ」や、台座を踏むと乗った人の動きに合わせてリズムを奏でる「バウンサー」などが登場します。

市美術館(中央区大濠公園)などその他の市の施設でも、ワークショップや映像作品の展示などのイベントが行われます。詳細は、ホームページ(「ザ・クリエイターズ」で検索)を確認を。

■問い合わせ先/コンテンツ振興課  
☎711-4329 ☎711-4354

**HAPPY BOX**  
 笑顔の輪を広げる  
**ハッピーボックス**  
 皆さんの「ちょっといい話」や「うれしかったこと」などを募集しています。

30年ぶりに涙しました (東区 80代)  
香椎宮から自宅の八田に帰る途中、ミニバイクのガソリンが切れ動かなくなりました。押し歩き始めましたが、約2キロでギブアップ。道端で座り込んでいたら、30〜40代の男性が「どうしました?」と声を掛けてくれました。手伝ってくれただけで

孫のマンゴー (東区 80代)  
なく、ご家族を呼んで私を車で送り届けてくれたのです。感謝し、仏前で仏様に報告しました。  
孫が、仕事で宮崎に行った際に、現地からマンゴーを送ってくれました。孫の優しさとマンゴーのおいしさで、とても幸せな気持ちになりました。

住所・氏名・年齢を記入の上、はがきか封書、またはメール(✉shiseidayorioubo@city.fukuoka.lg.jp)で広報課「ハッピーボックス」係(〒810-8620住所不要)へ。写真やイラストもお待ちしています。

※氏名は掲載しません。  
■問い合わせ先/広報課 ☎711-4016 ☎732-1358



絵手紙 西区70代

## 新型コロナウイルス関連情報

### ワクチン接種について

市は、生後6カ月以上の全ての人を対象に、地域のクリニックや集団接種会場で、オミクロン株XBB・1・5対応1価ワクチンを使用した接種を実施しています。

集団接種会場は、▽市役所1階ロビー▽なみきスクエア(東区千早四丁目)▽もち体育館(早良区百道二丁目)の3カ所です。

接種による効果と副反応のリスクの双方を踏まえ、接種をご検討ください(高齢者および基礎疾患を有する人以外には、努力義務の規定は適用されていません)。

接種券が届き次第、予約可能です。未使用の接種券を持っている人は、その接種券を使用してください。紛失した場合は、接種券・証明書発行事務センター(午前8時半～午後5時半 ☎753・9455)に連絡を。

ワクチン接種に関する最新情報は、市ホームページ(福岡市コロナワクチンについて)で検索)を確認するか、市新型コロナウイルスコールセンター(午前8時半～午後5時半 ☎260・8405 ☎260・8406)にお問い合わせください。

### 医療費の自己負担額が変わりました

新型コロナウイルス治療薬は、これまで自己負担分が全額公費で支援されていましたが、10月1日から、医療費の窓口負担割合に応じて自己負担が発生します。左表参照。

### 新型コロナウイルス治療薬の自己負担額の上限

医療費の窓口負担	自己負担上限額
1割	3,000円
2割	6,000円
3割	9,000円

入院医療費は、高額療養費制度の自己負担額から最大1万円が減額されます。いずれも来年3月までの措置です。

### 感染症対策について

手洗いや換気など、基本的な感染症対策を心掛けましょう。医療機関や高齢者施設等を訪れる際は、混雑したバス・電車に乗るときは、マスクの着用が効果的です。発熱等の症状があり、相談する医療機関に迷う時は、市新型コロナウイルス感染症相談ダイヤル(24時間対応 ☎050・3665・7980 ☎406・5075)に連絡を。

詳細は、市ホームページ(「福岡市コロナ」で検索)でご確認ください。

## 福岡城跡で秋を楽しもう



福岡城は、1601年から7年の歳月をかけて、初代福岡藩主・黒田長政によって築城されました。福岡城跡(中央区城内)には、現在も当時の石垣などが残されていることから、国の史跡に指定されています。中でも、国の重要文化財の多間櫓は、唯一、築城当時の場所



に現存する櫓です。

市は、舞鶴公園東側の福岡高等裁判所跡地に、約300台を収容できる大型の駐車場を整備しました。左地図参照。この秋、福岡城の歴史に触れ、舞鶴公園の自然に親しみませんか。

### 多間櫓ウィーク

11月3日(金・祝)～12日(日)

### ●多間櫓の公開

普段は非公開の多間櫓の内部を、期間中の午前10時～午後3時に見学できます。10月～11月の土日祝日の同時時間帯にも一般公開します(いずれもボランティアガイド等が常駐)。

### ●櫓前の広場ではイベントも

次の日程でイベントも行われます。



第1～第3駐車場の料金は1時間150円(最大2,000円)。第4駐車場は2時間まで150円、2時間以降は1時間400円(最大2,000円)。福岡高等裁判所跡地に、築城当時の史料に基づいて、福岡城跡に通じる園路を設けた他、公園内にあったテニスコートを駐車場横に移転しました。詳細は、舞鶴公園管理事務所(☎781-2153 ☎715-7590)へ。

ます。いずれも申し込み不要。

### 11月3日(金・祝)

▽ペット雑誌撮影会「犬吉猫吉お散歩ウオッチング」午後1時～3時(犬吉猫吉会員は午前10時から。当日会員登録の上、参加も可能)※このほか、ペット障害物競争(午前10時～、午後1時～各回2時間)、ペットフード等を販売するマルシェ(午前10時～午後3時)もあります。

### 11月5日(日)

▽忍者体験(手裏剣道場・忍者アスレチック) 午前10時～午後3時▽忍者ショー 午前11時～、午後1時～(各回30分)▽手裏剣大会 午後1時半～3時(幼児の部・小学生の部・中学生以上の部 各先着15人)※手裏剣道場のみ200円。

### 11月12日(日)

▽ジャズコンサート 午後2時～3時(先着200人) 詳細は、ホームページ(「福岡城・鴻臚館」で検索)で確認するか、福岡城むかし探訪館(☎732・4801 ☎732・4802)に問い合わせを。



ジャズコンサート

### 秋の舞鶴公園であそぼう



子ども大人も楽しめます

11月3日(金・祝) 午前10時～午後4時 三ノ丸広場(中央区城内) ※小雨決行、荒天中止 子どもに人気のジャンボしゃぼん玉作りをはじめ、松ぼっくりツリー作りや乗馬体験などが楽しめるイベントです(一部ワークショップは有料)。また、西日本短期大学健康スポーツコミュニケーション学科の学生が考案した手作りゲームで楽しく体を動かすことができます。キッチンカーも登場します。

### ●みどりのまちマルシェ

通常、毎月第4土曜日に三ノ丸広場で実施されている「みどりのまちマルシェ」も同時開催されます。新鮮な野菜や果物の他、手作りの焼き菓子や季節の花苗などの販売が行われます。



出展者自慢の商品が並びます

詳細は、舞鶴公園管理事務所(☎781・2153 ☎715・7590)に問い合わせを。 ※本紙12面に関連記事。

見て学んで 体験しよう

# 福岡市防災フェア

11/3(金・祝)  
10:00～  
開催

11月3日(金・祝)午前10時～午後4時に、市役所西側ふれあい広場で市防災フェアを開催します。

自衛隊や海上保安庁、県警など約40の防災関連団体が地震体感VR(仮想現実)や火災時の煙体験等のブースを出展し、災害時に役立つ情報や防災について分かりやすく紹介します。※参加者多数の時は、ブースごとに整理券を配布する場合があります。

消防音楽隊の演奏や、消防伝



ドゲンジャーズ

が学べるクイズ大会や写真撮影会もあります。全問正解すると備蓄食等がもらえるクイズラリーも実施します。ぜひ家族や仲間とご参加ください。

詳細は、市ホームページ(福岡市 防災フェア)で検索)に掲載しています。※小雨決行。雨天時はイベントの内容が変更になる場合があります。

◇ ◇

10月30日(月)～11月3日(金・祝)には、市役所1階ロビーで防災に関するパネル展示を行います。併せてご覧ください。

■問い合わせ先/地域防災課  
☎711・4156 ☎733・5861

## 拉致問題を考える講演会

拉致問題は、わが国の主権および国民の生命と安全に関わる重大な問題です。政府が認定した17人の拉致被害者の他にも、拉致の可能性を排除できない人が9月末時点で871人存在し、中には福岡市の人も含まれています(警察庁発表)。

拉致問題の解決には、一人一人が関心を持ち、世論を盛り上げていくことが大切です。

北朝鮮人権侵害問題 啓発講演会

拉致被害者の横田めぐみさんの弟で、北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表の横田拓也氏



拉致被害者の全員帰国を求め活動する横田拓也氏

による講演「北朝鮮よ、姉横田めぐみを帰せ!」と、拉致問題を扱ったアニメ「めぐみ」等の上映を行います。※講演は手話通訳要約筆記あり。

■11月18日(土)午後2時～4時 所 FFGホール(中央区天神二丁目)定650人(先着)無料  
■往復はがきに参加希望人数、代表者の住所、氏名(ふりがな)、電話番号を書いて、10月10日(火)



アニメ「めぐみ」(政府拉致問題対策本部制作)

以降に人権推進課(〒810-8620 住所不要)へ。※1通4人まで応募可能です。市ホームページ(福岡市 拉致問題)で検索)でも受け付けます。



なお、講演の動画を市ホームページ(福岡チャンネル)で検索)で後日配信します。

■問い合わせ先/人権推進課  
☎711・4338 ☎733・5863



福岡市科学館

## 動画クリエイター展

市科学館企画展示室で開催

「動画クリエイター」(ユーザー)は、子どもの「なりたい職業ランキング」上位に入るほど人気の職業です。動画クリエイターという現代を象徴するテーマを、楽しく、分かりやすく伝える展示会が、市科学館で開催されます。

動画クリエイターにはどんな歴史があり、どんな活動をしているのでしょうか。さまざまなジャンルで活躍している9組のクリエイターの素顔や制作の舞台裏を、オリジナル動画と共に公開します。会場には、彼らの撮影スタジオの再現コーナーや動画制作の体験ブースも登場。撮影や編集、実況など「なりきり体験」もできます。

自分の考えを表現・発信する力や、新しい時代を生きるヒントが見つかるかもしれません。

■10月20日(金)～来年1月8日(月・祝)午前9時半～午後6時(入場は5時半まで) 休火曜日

詳細はホームページ(福岡市科学館 動画クリエイター展)で検索)に掲載しています。

■問い合わせ先/市科学館(中央区六本松四丁目) ☎733・2525 ☎731・2530

### <チケットプレゼント>

同展のチケットをペア5組10人に差し上げます。はがきに住所・氏名・年齢と「最近うれしかったこと」を書いて、10月18日(必着)までに、広報課「動画クリエイター展」係(〒810-8620住所不要)へ。当選者には直接チケットをお送りします。

## さわらの魅力を巡る秋のキャンペーン

9月から12月上旬にかけて早良区の秋の魅力を紹介する「さわらの秋」が、今年で15年目を迎えます。

### ●スタンプラリー

パンフレットに掲載している協賛店で11月15日(水)までに500円以上の買い物をして、スタンプを4個集めた人に「脇山米」をプレゼントします(先着700人)。引き換え期間は10月13日(金)～11月15日(水)です。



脇山米

### ●Instagram投稿キャンペーン

早良区内で撮影した秋のイベントや景色等の写真に「#さわら秋日記2023」「#さわらの秋」のハッシュタグとキーワードを付けて11月30日(水)までにInstagramに投稿してください。抽選で、合計16人にインスタントカメラ「チェキ」などの賞品が当たります。

キャンペーンの詳細のほか、楽しいイベントやグルメ等の情報を多数掲載しているパンフレットは、情報プラザ(市役所1階)、各区役所情報コーナー、入部・西部出張所等で配布する他、市ホームページ(「さわらの秋」で検索)からもダウンロード可能です。

■問い合わせ先/早良区企画課 ☎833-4412 ☎846-2864



パンフレット

福岡のサッカーチームを応援しよう!

10月のアビスパ福岡のホームゲームは、28日(土)午後2時 横浜F・マリノス戦です。🎟️ベスト電器スタジアム(博多区東平尾公園二丁目)